



一週一言

石城の生める備前室禮閣の傳記は地方有志の相謀る刊行會によつて此の程漸く完行を告げ同志一般に頌本された、偉人の産を誇る郷土而して之れを崇仰するの念は自ら大なる教化となり偉人を生める郷土にこの志のある地が絶えず士子俊才を輩出してゐる事例が明らかに其れを教えてゐる

良き稻米の産する地にはよき稲葉の出来ねばならぬ要素がある、良き要素には天然の資と歴史が教えた指導とがある、偉人傑士の産もまた斯の如く吾れ等は常に國史を重んずる様に郷土史なるものを同じく輕んじてはならない、櫻關傳記の刊行は、まさに之れを履んだもので其の勞の空しからざるを疑はぬ、

世の多くには遠い人物を親つて近い偉人に親しまれぬ癖がある、自家の米飯より隣家の麥飯なる俚諺は其の愚をわらひ且つ戒しめた言葉であつて其れを當時の沙汰と心得てはならぬ、我が國の現状に西洋中毒のあるものは他山の石を飽食し過ぎた結果であつて蓋し櫻關傳記の如きは郷に於ての常備劑であり他に與へては有効な刺戟劑であらう、

日曜新聞 日五十月五年九和昭 郵税十五錢 郵局掛金 廣告料一円四十錢 發行所 福島縣平野町大町二丁目 牛谷政喜

常識講座

インテキは外語の様に思ふものもあるがそうではない昔から賭博や拘捕師の間に使はれた隠語でゴマ化したりトリックを使つたりイカサマをするゴザルイヌと大出鱈目のことだ

以上取重なる取締方を其筋に建議、検定試験所を縣下四ヶ所となすこと、大會開催の際は各官學校に通知すること、總會を縣下各都市輪番となすこと、等を終つて青沼平町長の祝辭に請願、無免許業者をよ

第一號八年度事業報告書誤訂正承認 第二九年度最高限度借入額變更 第三理事の補缺選舉 第四定款二十條監事五名を六名とするものその他、第五監事の増員選舉(以上)

磐中修旅通信 第二信 宇治山田に到り内宮外宮を參拜す、櫻葉たる樹木の中に神の靈と神木の靈と畏然として人の襟を正さしむ午前十時三分山田を發し櫻井に到り零時五十分奈良に櫻井此所にて東大寺、正倉院、二月堂、三月堂、春日神社、興福寺、手向山神社、猿澤池等を見學す、東大寺の大佛には唯々驚くばかりでした。猿澤の池は噂ほどでもありませんでした午後三時二十五分奈良を發し四六分桃山藩、御陵と乃木神社を拜す途中雨にあふ、午後五時五分偉人の面影に名残をおしみつゝ發し一行京都に着き長谷川旅館に宿す、

地下問題の委員會

反對答申に決定す

出願の磐炭には友情的に交渉 委員會から諒解を求めて 平町地下採掘に關する答申決定の委員會は今日午後一時から町役場に開會全員の出席で慎重なる意見交換の結果磐炭の採掘出願並に小田吉治氏の試掘出願何れも公益上に障害ある旨の答申に決したる而して磐炭の出願に係る採掘の反對は之れを政治的に遂行をなせばならぬ事情もあるもので相隣る磐炭と平町との間に交渉の深い關係に訴へ友情的に

石城の春蠶掃たて

昨年より一割の減 總量十五萬二千二百グラム 早く次は片倉製糸特約組合の平町近郷に於ける去る十二日で茲一兩日が掃立盛りのであるが養蠶當業は蠶值安の對策には安養生産より外に途なきを自覺し大休縣の調査による左記の經費以内に止むべく努力されてる模様である

縣參事會の裁決も

申立相立たつと決定

中野勇吉氏の特別戸數割異議 具體的に立證がないため 平町字大町中野勇吉氏が郡山市田村辯護士を代理人として昭和八年度の特別戸數割賦課額を違法であると異議を申立てたことは當時所報の如く去る一月の同町會は申立相立たざる旨に決定して縣參事會に審議されてゐたが同會に於ても同じく訴願人に於て虚構の收入假定の利益だと主張することは何等具體的に立證をもたぬものであるとされ申立を相立たすとの裁決となつた旨今日十四日町役場に同書を送り越されたが中野氏の同年度特別戸數額は四百七十四圓二十

江名信用臨時總會

割合に平穩で終議 引責辭職した太氏再選される 石城郡江名信用購置組合の臨時總會は前報の如く去る十二日同町小學校に於て開會臨時總會から監視警戒のため出張した出席四百八十一名(委任狀一四八を合せて)で左記諸件を付議した第一號案は縣の石井主事補の説明を以て承認、第二案は十萬圓の借入を十五萬圓に増額變更承認、第三の太清左工門氏辭任による理事一名の補缺選舉は投票の結果太氏絕對多數で再選

同盟總會

縣下鍼灸按 縣下鍼灸按同盟會の總會は昨日午前十時から平野町城下公會に於て開かれた出席者は百餘名で定刻石坂(福島)同盟會長開辭を述べて議事強制組合設置公認方を其筋

地下採掘の可否に就て

平町地下採掘問題について町民の一人として多少の關心なきを得ないが、さてその可否如何を問はれると極めて莫然とした答案しか書けないのが残念故、おくれ走せ乍ら物の本によつて答案を書いてみる。

「無害深」なるものは存在しない」と書いて居る。又福岡縣下の石炭採掘による被害を調査した櫻村教授は「殊なかに倒壊するものもあり云々」と報告してゐる。福岡市外の海岸町煙濱町は土地陥落のため満潮時になると海水が町の中に侵入し土地家屋が水浸しになる、おまけに井水濁濁不水使用等の原因も加はつて傳染病の發生も多く、

一地下二三千尺の採掘は地表に影響を與へないか素人考では大した影響はなさそうだが、専門學者は「石炭山では地下千二百尺又は三千尺の深處を掘つても地表の陥落は免れない」と云つてゐる。厚見利作著「實現象である」とのべ、なほその調査した結果を例をあげて「宅地が陥落すると土地が一般に濕潤となり殊に降雨があ

